

## 堺が生んだ偉人 河口慧海の生涯コース

定員 50名

主宰 奥山直司 高野山大学名誉教授

河口慧海（かわぐち・えかい、1866–1945）は、堺・北旅籠町出身の僧侶・仏教学者です。慧海は明治のチベット探検によってその名を知られています。それは、インド・ネパールでの滞在も含めて、前後2回、通算17年にもおよぶ長い旅でした。その後の慧海は、この旅行によって得られた資料に基づいて釈迦（ブッダ）の本当の教えを探求するとともに、独自の仏教観に基づく布教活動を展開しました。本講義では、資料によってこの偉人の生涯をたどりながら、彼の思想と行動の意義について考えてゆきます。

NO	日程	講座内容	講師
1	6月7日 (土)	ガイダンス、堺での幼年時代	
2	6月14日 (土)	仏教への目覚め、東京での苦学	
3	6月28日 (土)	出家、改革への奔走、チベット探検を思い立つ	
4	7月12日 (土)	ヒマラヤの彼方へ—第1回インド・ネパール・チベット旅行1	
5	7月19日 (土)	世界の頂上で—第1回インド・ネパール・チベット旅行2	
6	8月2日 (土)	一時帰国とその反響	
7	10月4日 (土)	ベナレス菩提樹軒—第2回インド・ネパール・チベット旅行1	高野山大学 名誉教授 奥山 直司
8	11月15日 (土)	雪山歌旅行—第2回インド・ネパール・チベット旅行2	
9	11月22日 (土)	学問と布教の日々	
10	11月29日 (土)	河口慧海を支えた人々	
11	12月6日 (土)	在家仏教誕生	
12	12月13日 (土)	見果てぬ夢	

講義時間：15時～16時30分

会場 : 関西大学堺キャンパス・大阪公立大学中百舌鳥キャンパス

受講料 : 15,000円